

「人工知能と人間社会に関する懇談会」提出資料

東京大学大学院経済学研究科

柳川 範之

人工知能（AI）の急速な発展

所得格差拡大の可能性

コンピュータやAIを使いこなす側に回るべき

業務の総合的な再編成力が求められる

仕事はなくなる

それぞれにどんな専門的能力があり、どんな業務をさせるのか、どんな能力を身に付けさせるのか

まったく新しい組み合わせを考えること

個別性が強く過去のデータが使えない問題は人間のほうが相対的有利性をもつ
人間的な「常識」をAIに理解させるのは難しい

コミュニケーション能力の重要性

日本企業の問題点

変化のスピードの速さ

むしろ、AIやコンピュータの代替されやすい能力を養成してきた傾向
教育をどう変革するか

社会構造の大きな変化

- 変化を起こすのは新しい企業
- 起業をめぐる環境が激変している
- セットアップコストの大幅な低下
- 誰でも少人数で世界を相手にしてビジネスができる時代に
- 日本はいまだに大企業を中心とした発想
- 小さな組織の時代